

\*\*2015年3月改訂（第6版）  
\*2013年7月改訂

日本標準商品分類番号

871319

承認番号	14500AMZ01583000
薬価収載	1970年8月
販売開始	1970年7月

## エリスロマイシン・コリスチン点眼剤

\*\*処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

# エコリシン<sup>®</sup>眼軟膏

## Ecolicin<sup>®</sup> ophthalmic ointment

エリスロマイシンラクトビオン酸塩・コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム眼軟膏

貯 法：気密容器、室温保存  
使用期限：外箱及びチューブに記載（2年）

Santen

### 〔禁忌（次の患者には投与しないこと）〕

エリスロマイシン、コリスチンに対し過敏症の既往歴のある患者

### 〔組成・性状〕

販売名	エコリシン眼軟膏	
有効成分	エリスロマイシンラク トビオン酸塩	コリスチンメタンスル ホン酸ナトリウム
含量(1g中)	5mg(力価)	5mg(力価)(15万単位)
添加物	白色ワセリン、流動パラフィン	
性状	乳白色半透明、無菌眼軟膏剤	

### 〔効能・効果〕

<適応菌種>

エリスロマイシン/コリスチン感性菌

<適応症>

眼瞼炎、涙嚢炎、麦粒腫、結膜炎、角膜炎(角膜潰瘍を含む)

### 〔用法・用量〕

1日数回点眼する。

<用法・用量に関連する使用上の注意>

本剤の使用にあたっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、疾病の治療上必要な最小限の期間の投与にとどめること。

### 〔使用上の注意〕

#### 1. 重要な基本的注意

使用中に感作されるおそれがあるので、観察を十分に行い、感作されたことを示す兆候があらわれた場合には、投与を中止すること。

#### 2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

副作用が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

頻度 種類	頻度不明
過敏症	眼瞼炎、眼瞼皮膚炎、そう痒感
眼	結膜充血

#### 3. 適用上の注意

投与経路：点眼用にのみ使用すること。

### 〔薬物動態〕

#### 眼組織内移行<sup>1)</sup>

(参考：ウサギ)

ウサギに本剤を15分おきに4回点眼し、最終点眼15分後の房水中濃度は、エリスロマイシンが2.0～3.0 μg/mL、コリスチンは0.66～1.83 μg/mLであった。この値はそれぞれ単独で投与したときに比べて有意差は認められなかった。また、エリスロマイシン、コリスチンの血清への移行は認められなかった。

### 〔臨床成績〕

各種眼感染症を対象とした臨床試験を実施し、合計19例に投与した結果、有効性が認められた<sup>2),3)</sup>。

#### 1. 疾患別臨床効果

本剤の疾患別臨床効果は下記のとおりであった。

疾患名	有効率(%)
結膜炎	100.0(3/3)
麦粒腫	100.0(6/6)
眼瞼炎・眼瞼膿瘍	100.0(5/5)
涙嚢炎	100.0(1/1)
角膜潰瘍	100.0(4/4)
総計	100.0(19/19)

#### 2. 検出菌別臨床効果

上記19例中、細菌が検出された17件における菌種別臨床効果は下記のとおりであった。

菌種	有効率(%)
ブドウ球菌属	100.0(10/10)
肺炎球菌	100.0(3/3)
緑膿菌	100.0(3/3)
モラクセラ・ラクナータ(モラー・アクセンフェルト菌)	100.0(1/1)
総計	100.0(17/17)

## 〔薬効薬理〕

### 1. 作用機序<sup>1)</sup>

本剤の抗菌作用を示す作用機序は、それぞれ感受性菌に対するエリスロマイシンのもつ細菌の蛋白合成を阻害する作用と、コリスチンが有する細胞質膜を障害する作用とに基づいている。

### 2. 抗菌作用

エリスロマイシンは*in vitro*で、グラム陽性菌のブドウ球菌属、肺炎球菌、レンサ球菌属及びジフテリア菌などに強い抗菌力を示し、グラム陰性菌の淋菌、ヘモフィルス・エジプチウス(コッホ・ウィークス菌)及びモラクセラ・ラクナータ(モラー・アクセンフェルト菌)にも抗菌力を有している<sup>2)</sup>。また、トラコーマクラミジア(クラミジア・トラコマティス)にも抗菌作用を示す<sup>3)</sup>。一方、コリスチンはグラム陰性菌のヘモフィルス・エジプチウス(コッホ・ウィークス菌)やモラクセラ・ラクナータ(モラー・アクセンフェルト菌)のほか、特に緑膿菌に対して強い抗菌作用を示す<sup>2)</sup>。

## 〔有効成分に関する理化学的知見〕

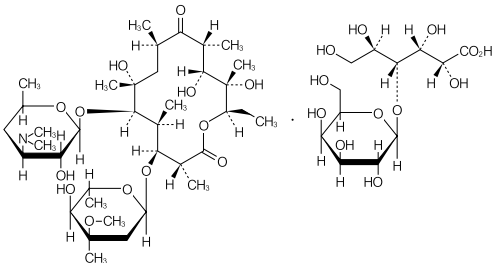
### 1) エリスロマイシンラクトビオン酸塩

一般名：エリスロマイシンラクトビオン酸塩  
(Erythromycin Lactobionate)

略号：EM(エリスロマイシン)

化学名：(2*R*,3*S*,4*S*,5*R*,6*R*,8*R*,10*R*,11*R*,12*S*,13*R*)-5-(3,4,6-*Trideoxy*-3-*dimethylamino*-β-*D*-*xyl*o-hexopyranosyloxy)-3-(2,6-*dideoxy*-3-*C*-*methyl*-3-*O*-*methyl*-α-*L*-*ribo*-hexopyranosyloxy)-6,11,12-trihydroxy-2,4,6,8,10,12-hexamethyl-9-oxopentadecan-13-olide mono(4-*O*-β-*D*-galactopyranosyl-*D*-gluconate)

構造式：



分子式：C<sub>37</sub>H<sub>67</sub>NO<sub>13</sub> · C<sub>12</sub>H<sub>22</sub>O<sub>12</sub>

分子量：1092.22

性状：本品は白色の粉末である。

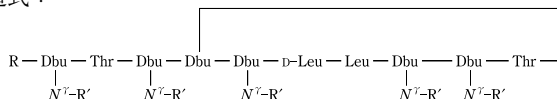
本品は水、メタノール又はエタノール(99.5)に溶けやすく、アセトンに極めて溶けにくい。

### 2) コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム

一般名：コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム  
(Colistin Sodium Methanesulfonate)

略号：CL(コリスチン)

構造式：



コリスチンAメタンスルホン酸ナトリウム：R=6-メチルオクタ酸

Dbu=L-α, γ-ジアミノブタン酸

R'=SO<sub>3</sub>Na

コリスチンBメタンスルホン酸ナトリウム：R=6-メチルヘプタン酸

Dbu=L-α, γ-ジアミノブタン酸

R'=SO<sub>3</sub>Na

性状：本品は白色～淡黄白色の粉末である。

本品は水に溶けやすく、エタノール(95)にほとんど溶けない。

## 〔包装〕

3.5gチューブ×10本

## 〔主要文献及び文献請求先〕

### ＜主要文献＞

- 1)利岡誠夫他：エリスロマイシン・コリスチン配合剤の眼内移行について、参天製薬(株)社内資料 [51316]
- 2)大石正夫他：眼科臨床医報 61, 281(1967) [51307]
- 3)三井幸彦他：日本眼科紀要 19, 661(1968) [51308]
- 4)住木論介：抗生物質 補遺Ⅱ p567, p707 東京大学出版会(1973) [51314]
- 5)中尾偕主他：西日本泌尿器科 56, 461(1994) [57823]

### ＜文献請求先・製品に関するお問い合わせ先＞

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求ください。

参天製薬株式会社 医薬事業部 医薬情報室

〒533-8651(個別郵便番号) 大阪市東淀川区下新庄3-9-19

TEL 0120-921-839 06-6321-7056

受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日を除く)